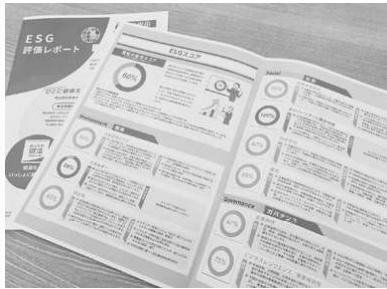


保険会社による顧客企業のESG支援



〔写真〕顧客には評価結果をリポートのかたちで提供。

推奨する取り組みを示し 課題解決支援も実施

会は、ESG関連の情報発信や
販売活動を実施している。これ
は、特に中堅規模以下の保険会
社にとって経営資源の制約など
により、個社としては対応しづ
らい分野だ。同協会では監督當
局との議論を踏まえたESG関
連のリスク管理や、その開示の
高度化に向けた検討も行っている
という。

中堅・中小企業のESG支援
が課題となっているのは日本も
同様だ。こうしたなか、当社では
前出のリム・サステナビリティ
ー社と協働し、経営資源に制
約がある中堅・中小企業に対し、
デジタルを活用した安価なES
G評価サービスを提供している。
具体的には、業種ごとに設定
している重要なESG項目に関する
50～70の質問に回答すると、
各ESG項目への取り組み状況
をスコア化し、推奨する取り組
みを評価リポートとして
示すものだ（写真）。24年
5月から、従業員100人
以上1,000人未満の企
業を対象に、東京都、愛知
県、大阪府等の大都市部で
先行展開しており、同年12
月末時点では約60社から申
しこみがあった。採用企業
からは「同業他社との比較
によって、自社の立ち位置
・課題が確認できた」「営
業面に加え、良質な人材確
保」など、多岐にわたる意見
があつた。

明治安田生命保険
サステナビリティ
経営推進部長
来住慎一

筆者は日本の保険会社を代表して同会議に参加した。筆者が参加したサステナビリティーパネルには、フィリピンの保険協会の幹部やマレーシアの再保険会社のトップも参加した。

そこで本稿では、同パネルで報告のあった各国の取組事例を紹介したい。経営資源が限られる中堅・中小企業のESG支援に支援していくべきかが議論された。

筆者は日本の保険会社を代表して同会議に参加した。筆者が参加したサステナビリティーパネルには、フィリピンの保険協会の幹部やマレーシアの再保険会社のトップも参加した。

そこで本稿では、同パネルで報告のあった各国の取組事例を紹介したい。経営資源が限られる中堅・中小企業のESG支援には、各国が試行錯誤をしていることが分かる。

マレーシアの再保険会社では、元受け保険会社である生損保やその投資先・顧客企業が抱えるESG関連のリスクを注視。気候変動に起因する死亡率・疾病率の上昇や、自然災害の増加・激甚化の状況を注意深くモニタリングしている。引き受けやブライシングの判断を行うとともに、中堅規模の企業のリスク管

理会によるESGの取り組みは、自社の取り組みを強化するフェーズから、投融資先や取引先の取り組みを支援するフェーズへと移行しつつある。これは先進国に限った話ではなく、アジアの新興国でも総じて同じ状況にあるとみられる。特に課題となっているのが中堅・中小企業の支援である。本稿ではアジア各国の事例と共に、当社のESG支援の取り組みを紹介する。

保険会社において重要性が高まる 中堅・中小企業のESG支援

明治安田生命保険
サステナビリティ
経営推進部長
来住慎一

